

第 449 回集談会

(東北薬科大学天然物化学特別講演)

1. 日時：2014 年 1 月 20 日（月）16:30～
2. 場所：2A 講義室（中央棟 2 階）
3. 座長：天然物化学教室 教授 浪越通夫先生（内線 4604）
4. 演者：北海道大学大学院薬学研究院創薬科学部門 天然物化学研究室
教授 小林淳一先生
5. 演題：生物活性天然分子のケミカルバイオロジー



6. 要旨：海洋生物からは、特異な化学構造や生物活性をもつ天然物が多数単離、報告されている。

本講演では、沖縄産の海綿、ホヤ、渦鞭毛藻から単離した生物活性天然分子の構造と生物活性について紹介したい。これらの生物活性天然分子の分子標的は、V-ATPase、アクチン、アミノ酸輸送蛋白 System L、などである。

演者は、沖縄の島々で、30 年間 scuba diving で海綿やホヤなどを採取してきたので、この 30 年間で振り返って研究の面白さを紹介したい。